

ふかまちのまど

第二五号 二年四月一日
発行元 深町連合町内会
連絡先 六三三八八二

深小だより

新年度もよろしく
おねがいします

深小学校長 平岡 茂樹

三月二十二日(木)、第六十五回深小学校卒業証書授与式を多くのご来賓の皆様のご臨席のもと盛大かつ厳粛に挙行いたしました。十九名の卒業生が、それぞれの進路に胸膨らませて巣立っていきましました。また、二十三日には、修了式を行いました。平成二十三年度を終了することができました。

この一年間、さまざまな面でご支援・ご協力をいただきました。地域の皆様、保護者の皆様、厚く感謝申し上げます。

四月一日から、新たな年度が始まりました。小学校職員員の異動がありましたので、この紙面を借りてお知らせいたします。

◇転出する職員

教諭 藤井 茜
尾道市立因北小学校へ
事務専門員 坂本 久美子
退職

◇転入する職員

教諭 村田 洋子
三原市立木原小学校より
教諭 秋永 美絵
三原市立糸崎小学校より
事務職員 奥田 眞里



今年度は、十五名の新入学児童を迎え、全校児童数が八十九名でスタートとなります。職員一致団結して、誠心誠意努めてまいりますのでどうかよろしくお願ひ申し上げます。

「児童会執行部になって」

五年 村上 由華

私は、児童会に入ってから、守ろうと思った公約があります。一つめは、「みんなが楽しく過ごせる学校」です。二つめの公約は、「深小学校をだれにでもじ

まんでできる学校」です。この二つの公約は、私が児童会に立候補した時から、決めていました。なぜかと言うと、わたしが、児童会役員をしてきた人たちを見てみると、すごく笑顔で仕事をしています。そして、この深小学校を良い学校にしようと思えば、児童会役員になりたいたいと思ひ、この公約にしました。

私は、児童会に入る前、選挙運動をしてきました。休けい時間などを使って、公約などを発表し、立候補者として、出来るだけの事を精いっぱいがんばり、今、こうして、児童会に入れています。今までは、選挙運動に協力してくださった先生方、発表を聞いてくれた、全校児童のみなさん、応援してくれた、両親に感謝し、児童会として、がんばっていききたいと思ひます。



やりぬいた児童会選挙

五年 前田 翼

二月に児童会選挙がありました。ぼくは、「あいさつや返事であふれる深小学校にする。」と「時間をきちんと守れる深小学校にする。」という二つの公約で選挙にしよう戦しました。ぼくは正直、自分の実力で当選できると思っていまませんでした。でも、立候補したので、くいはないようにならばいいと思ひて選挙運動に取り組みしました。いよいよ本番です。ぼくは、いすにすわって、アピールする順番を待っていました。この時、ぼくは、きんちようして、手足がふるえていました。だけど、勇気をふりしぼって、積極的にアピールしました。選挙の結果が、放送から流れ、前田翼と言われました。ぼくは、とてもうれしかったです。でも、それと同時に多くの人に期待されているという責任も感じました。

ぼくは、これからこの経験を生かして、あいさつや返事、時間がかちんと守れる深小学校をみんなとつくっていききたいと思ひています。

TBG協会だより

福山一Wターゲット・バードゴルフ大会で個人優勝!

福山一 WTBG大会が二月二十五日(土)に、福山市本郷町の常設コースにて行われました。三原TBG協会からは吉川道一・天木雅之の二名が参加し、吉川道一が見事優勝しました。日々の練習の成果が出たように思います。

第十九回岡山・玉野市ターゲット・バードゴルフふれあい大会

玉野市TBGふれあい大会が玉野市和田「林間芝生広場」にて二月二十六日(日)に行われました。三原TBGからは林洋祐・吉川道一・天木雅之の三名が参加しましたが、上位入賞にはなりませんでした。



第十三回三原市ターゲット・バードゴルフ大会

第十三回三原市TBG例会が三月四日(日)、深町城山コースにて行われました。成績は次の通りです。

- 一位 金子 勝彦
- 二位 吉川 道一
- 三位 平岡 博司

第十三回ターゲット・バードゴルフふれあい岡山県大会

第十三回TBGふれあい岡山県大会が三月十一日(日)、岡山市南区藤田リバーサイドTBGコースにて、遠くは三重県・滋賀県より百四十名余りの選手が参加で行われました。三原TBG協会からは林洋祐・天木雅之の二名が参加しましたが、入賞とまではなりませんでした。

第二回世羅町チャンピオンズカップTBG大会

第二回世羅町TBG大会が三月十八日(日)、世羅町小谷常設コースにて盛大に行われました。三原TBG協会からは谷岡義昭・志水孝則・綱掛正志・金子勝彦・吉川道一・天木雅之の六名が参加しました。成績は次の通りです。

- 個人戦 三位 吉川 道一
- ホールインワン賞 志水 孝則

※選手の敬称略

(TBG事務局天木雅之 63-2290)

謹んでお悔やみ申し上げます

法代地 益加 様 (八五歳)
(上組上成瀬講) 二月二十八日
向井 善一 様 (八五歳)
(上組上成瀬講) 三月八日

深町各種団体四月行事予定

- ◆連合町内会
- ▼定期総会 八日
- ◆上・中・下組各町内会
- ▼定期総会 十五日
- ◆女性会
- ▼定期総会 十一日
- ◆小学校・幼稚園
- ▼就任式・始業式 六日
- ▼入学式 九日
- ▼入園式 十日
- ◆参観日・PTA総会 十四日
- ▼家庭訪問 十九日
- ▼読み語りの会 二十日
- ▼クラブ活動 二十五日
- ◆如水館中学・高校
- ▼始業式 六日
- ▼入学式(中高合同) 九日



展望席

春眠暁を覚えず。春になると、野山の木々、草花、小鳥や虫達は眠りから覚めて生き生きとしています。人間は春の陽気に誘われて眠気を催すことが多くなります。若い頃は、夜一度眠りにはめったにありませんでしたが、年をとるにつれて夜中に何度も目が覚めることが多くなりました。でも、夜中に目が覚めた時、フツと大事なことを思い出したり、頭に何かが閃いたり、気が付いたりすることがあります。私にとっては、夜中に目が覚めることは決して悪いことでもないので、朝目が覚めた時、その大事なことを忘れてしまったり、そのまま眠れないことがあるのは困りものです。「脳梗塞や心臓病の予防のため、夜寝る前に水を飲むこと」と言われ、水を飲んで寝ると、夜中に何度も起きてトイレに行くことがあります。夢の中でトイレに行くのですが、トイレがなかなか見つからず、やっとトイレにたどり着いて用をたしてもスツキリせず、ハツと気が付いて目が覚め、もしや下着は濡れていないかと触ってみたりします。こんな夢を再々見るのも嫌ですが、健康のためには仕方ないことでしょうか。睡眠時間は八時間より七時間の方が長生きをする、適度の昼寝は健康に良い、寝る子は育つ、乳幼児の夜更かしは心身の発達に悪影響があるとか。果報は寝て待てる。また明日の朝、目が覚めることの幸せに感謝しながら、春眠をむさぼることなく寝ましようか。

深小PTA 上組 橋詰美穂

運動会では、ヤングマン、てっぺん、かわいかったですね。なる機会が増え、雷がゴロゴロとある日、私が

「ゆうくん、京、雷がなつたけど、おへそとられてない」と、ゆうきの顔を覗き込むと、「ほら、あるよ」と服をめぐつて、自分のおへそがあるのを確かめてと言わんばかりに、ニコニコと見せてくれました。ニコニコと母もニコニコと頭を撫でてやりました。

ある日には、私がゆうきを叱った時、「みんな、そんな事はしないよ、そんな事をするのは、ゆうきだけよ」と叱ると、ゆうきが「みんなって、世界の人みんな？」と、屁理屈を言うようになってきました。素直で純粋なところ、生意気なところを持ち合わせた二年生。



たよりにしています！

深小PTA 中組 越智有美

早いもので、深町に来て二年がたちました。三年の三学期から深小に通いだした丈夫も四月には六年生で、また家で学校から帰ってくるのをまつていると妹一人だけ、で、すとの言葉は何度も聞いたことか、そんな愁平です。最近成長したな、と思うことがよくあります。

私にとつてはよく頑張ってくれたなという思いで、魚釣りが楽しかった。何年もで、耳に入らない状態でした。どうしたらいいのかわからず、泣いていました。お母さん、お父さん、お兄さん、お姉さん、みんな、お話を聞かせてください。お話を聞かせてください。お話を聞かせてください。

ピッコロだよりの
(多機能型就労支援事業所)
生活支援の事業所も開所



四月一日より、ピッコロの利用者もハウスの中の作業、深の里での野菜、お米、堆肥づくりと作業内容も拡張してすることになりました。又、ピッコロの施設の一部を改装し、生活支援(介護)の事業所も開所です。仲間が増えて活気づいています。ハウスの中も寒い時を忍んで春を待ちわびながら、少しずつ生長しています。

ロベリア・アゲラタム・マリゴールド・イソトマ・ペチュニアなどです。野菜苗はトマト・キュウリ・ピーマン・ししとうなどです。野菜苗は数に限りがあります。お早めにお買い上げ下さい。

短歌、俳句、詩

中組 仲峠講 竹内ひろみつ

吹く風は未だ冷たさ感づれど

山肌どこか膨らみて見え



娘の庭に梅一輪の咲いたると

写メールわれに届けくれたり

手入れせぬ山は荒れたり猪の

泥浴みの穴大きく窪みて

深町子どもを守る会

子どもを
みんなで守りましょう



深小の子どもは
午後四時二十分頃
下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで
見守りましょう。

○あいさつ、
声かけをしましょう。

交通事故の被害者と
その家族の方へ

警察が行っている
支援制度

警察では、交通事故の被害者等を支援するために、警察職員に付き添い、情報の提供、カウンセリングなどを行っています。



被害者支援員制度

交通事故が発生して間がない精神的に動揺されている被害者等を支援するために、被害者連絡担当者(事件担当捜査員)とは別に指定された警察職員が、被害者への付添い、支援制度に関する説明と資料の交付、各種相談の受理などの支援活動を行っています。

被害者連絡制度

被害者等は、交通事故の捜査はどうなっているのか、犯人は捕まったのか、犯人の刑事処分はどうなったのかなどについて、大きな関心を持っておられると思います。警察では、このような関心に応えるために、その事故を担当した被害者連絡担当者等が被害者等に対して、次のような情報を提供する制度を運用しています。

- 【交通事故の犯人に関する事】
○犯人の住所、氏名・年齢等
○交通事故の発生日時、場所
○捜査状況

- 【交通事故の犯人の刑事処分に
関すること】
○犯人の検挙状況
○犯人の刑事処分状況
○送致先検察庁、起訴・不起訴等の処分の結果、起訴された裁判所

【その他】
被害者等の中には、交通事故のことを思い出したくない、何も連絡してほしくないという方もおられると思います。そのような方は、被害者連絡担当者等にその旨、お知らせください。

行政処分に関する
情報提供

交通事故を起こした加害者に、刑事処分とは別に、運転免許の行政処分(取消し処分)が公安委員会により行われます。行政処分がされる前には、公開による「意見の聴取」が、処分を受ける犯人に対して行われます。ただし、「意見の聴取」には、

代理人が出席することもありませんし、犯人も代理人も出席しなれど、処分が行われることがありません。警察では交通事故や後遺障害が残るような重大な交通事故の場合、犯人に対する行政処分の結果等を可能な範囲でお教えできる場合があります。詳しくは、被害者連絡担当者等にご相談下さい。

カウンセリング制度

広島県警察では、臨床心理士によるカウンセリング制度があります。ひき逃げ事故の被害者等には、心身にさまざまな変化が起こり、今までのような生活を続けていくことが難しくなることがありますが、これは誰にでも起こりうる自然な反応です。

(中略)

事故の前と比べ、心身の状態が変わってしまったら、困り、無きは、ひとり我慢したり、無理に頑張ろうとしないで、カウンセリング制度をご利用下さい。秘密は厳守し、無料でご相談に応じます。ご相談の内容のうち、警察で対応できないことについては、適切な機関・窓口をご紹介いたします。事故の影響で起こる悩みや体重的変化は、事故から一か月以上経って現れることも多く、数年後に現れることもあり、数も、つらいときは、ぜひご相談ください。このカウンセリング制度に関しては、担当の被害者連絡担当者や各警察署の警務課へお問い合わせ、お申し込みください。



警察以外でのカウンセリング
をご希望の方は、
「社団法人
広島被害者支援センター」
相談電話

082-544-1110

相談日 月・水・木・土曜日
10時～16時

(祝日・八月十三日～十六日、
十二月二日～一月四日を除く)をご利用ください。

※ 広島県警察「交通事故相談の手引き(平成二十二年十月改訂)」より抜粋
○資料提供
三原警察署中之町警察官駐在所